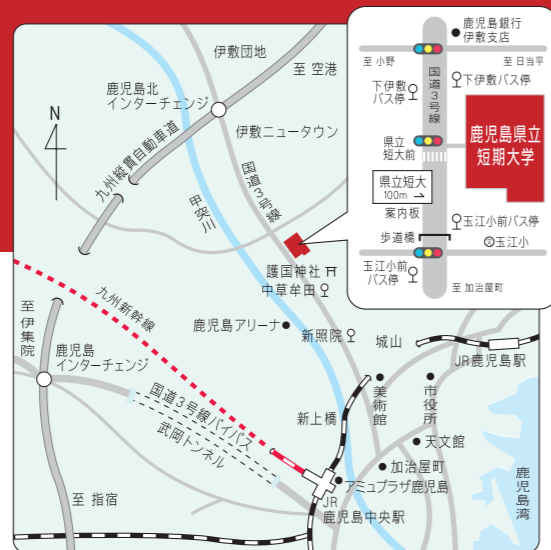


k
e
n
t
a
n
2
0
1
0

k
e
n
t
a
n

鹿児島県立短期大学
大学案内 2010



鹿児島県立短期大学

〒890-0005
鹿児島市下伊敷一丁目52番1号
TEL (099) 220-1111(代)
FAX (099) 220-1115

[ホームページ]
<http://www.k-kentan.ac.jp/>

- 鹿児島中央駅からタクシーで15分。
- 鹿児島中央駅前から —
いわさきバスネットワーク
(中草牟田・伊敷方面行)、
JR九州バス(伊敷方面行)、
鹿児島交通バス(健康の森公園行)で
「玉江小前」バス停下車、徒歩5分。
- 天文館方面から —
各社の国道3号線経由伊敷方面行
バスで「玉江小前」バス停下車、
徒歩5分。



本学は1950（昭和25）年に新制大学として発足してから、今や60年に至らんとしています。

この間、それぞれの時代と社会に対応した機能と役割を果たしながら、本学は多くの方々から、地域に根ざし、地域に貢献する「県短（ケンタン）」と愛称され、関係者の方々からの大きなご支援のもとで発展して参りました。

小規模大学ではありますが、人文、社会、自然科学の総合的な性格をもつ、第一部、文学科（日本語日本文学専攻・英語英文学専攻）、生活科学科（食物栄養専攻・生活科学専攻）、商経学科（経済専攻・経営情報専攻）、第二部商経学科を擁しています。これまでに、1万3千を超える優れた卒業生を輩出し、いずれも地域社会の中核を担うリーダーとして活躍されています。

本学では、21世紀社会において、もっとも必要視されている「課題探求・解決」の能力を培うために、教養教育を基本において、専門教育との統合化を目指したカリキュラム開発や授業の創意・工夫を行ってきたところです。

しかも、本学では、単に「知」の創造（研究活動）と「知」の伝達（教育活動）に留まるのではなく、「知」の活用、応用、実践化を地球規模において考え（グローバル化）、それを鹿児島という地域において貢献していく（ローカリゼーション）という広がりの中核として自律できるように支援していくことが、先にも述べましたように本学のミッションです。

具体的には、ゼミをはじめ、小規模性を生かした学習方式、ボランティア、国際交流、異文化体験、課外活動等において、「知的興奮」をモットーに、多様な教養教育と専門教育との組み合わせからなる豊かなカリキュラムを組み込んで、「学びの場」を体験できる様々な工夫を行ってきているところです。

皆さんにも是非そうした「学びの輪」の中に入って頂き、学びの共同体の中から、「キラリ」と光る「知の生き方」を自分のものにして頂くことを願っています。



学長 中留 武昭

教員スタッフ

■ 文学科

教授	岩本 晃 代
学生部長・教授	木戸 裕 子
教授	久木田 美枝子
学科長・教授	轟 義 昭
准教授	建石 始
准教授	田中 眞 理
准教授	土肥 克 己
准教授	フィリップ アダメック
准教授	松山 哲 也
准教授	望月 正 道
助教	土持 かおり
講師	メアリー マクセイ

■ 生活科学科

学科長・教授	揚村 固
教授	井余田 秀 美
教授	釜田 忠
教授	瀬戸口 照 夫
教授	多々良 尊 子
教授	丸山 容 爾
准教授	倉元 綾 子
准教授	町田 和 恵
准教授	森脇 丈 子
准教授	吉國 秀 人
助教	有村 恵 美
助教	木下 朋 美
助教	坂上 ちえ子
助教	穴戸 克 実
助教	多田 司
助教	西 迫 貴美代

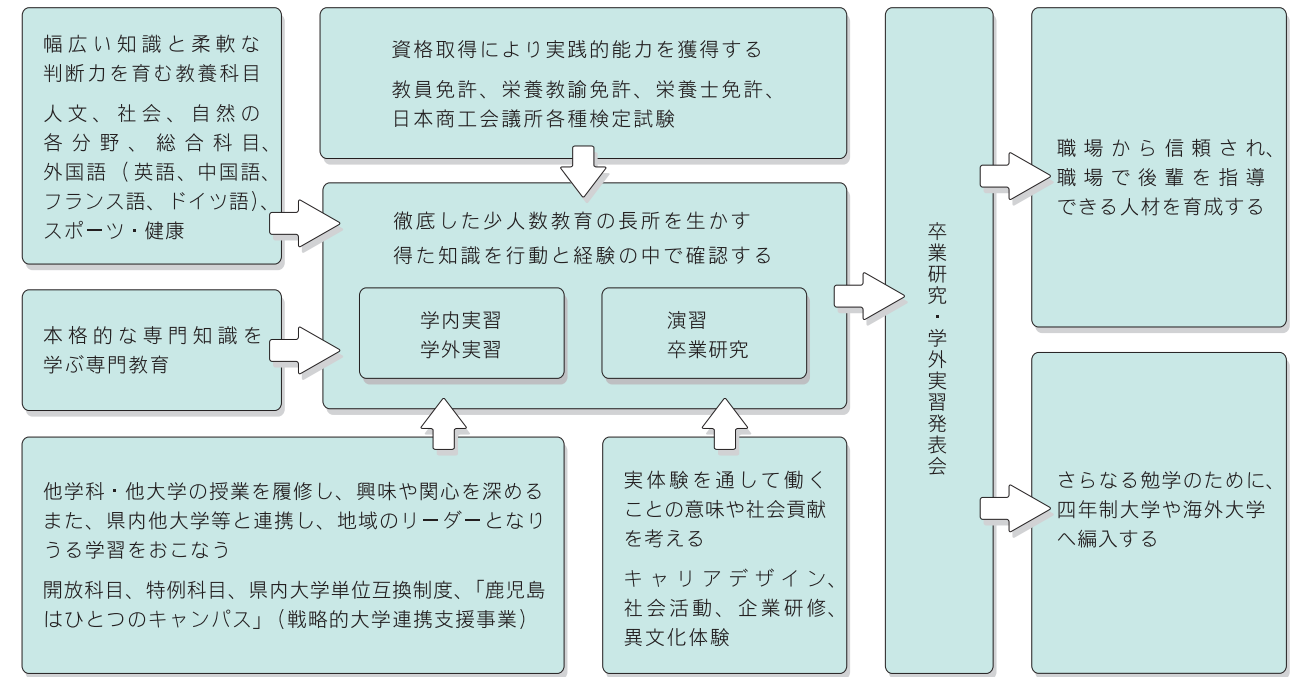
■ 商経学科

附属図書館長・教授	朝日 吉太郎
教授	内田 昌 廣
地域研究所長・教授	岡村 俊 彦
教授	斉藤 悦 則
教授	西村 富 明
准教授	岸田 未 来
准教授	倉重 賢 治
准教授	竹中 啓 之
准教授	福田 忠 弘
准教授	船津 潤
講師	臼谷 健 一

■ 第二部商経学科

学科長・教授	田口 康 明
教授	野村 俊 郎
准教授	宗田 健 一
准教授	疋田 京 子
講師	山本 敬 生

鹿児島県立短期大学の教育プログラムとその特徴



学科案内

■ 文学科

文学、言語、文化を学ぶことを通して、豊かな文化的感性、柔軟な思考力、的確な表現力を有し、多様化した社会で活躍できる人材を育成することが文学科の教育目標です。とりわけ、日本語日本文学専攻では多様化した地域社会で活躍できる人材育成を目指し、英語英文学専攻では多様化した国際社会に対応できる人材育成を目指しています。

■ 生活科学科

現在はライフスタイルの変化や高齢化の進展にともない健康および環境などへの関心が高まっています。生活科学科は、衣・食・住に加え、広く生活にかかわる事象を教育研究の対象にして、生活の質を高め、豊かな発想をし、社会に貢献する人材の育成をめざしています。

食物栄養専攻および生活科学専攻では、学生の皆さんが喜んで学習に取り組めるよう、多様で魅力的なカリキュラムを編成しています。

■ 商経学科

■ 第二部商経学科

消極的にイメージされがちだった「ローカルな生活」をとらえ直し、魅力に満ちた元気な地域社会づくりに貢献出来る人材を育成することが商経学科の教育目標です。

世界、日本、地域の仕組みと動きを研究することによって柔軟な思考力と企画力をきたえ、情報処理技術の習得によって情報発信能力を育てる学科です。

CONTENTS

01	学長挨拶	教員スタッフ
02	鹿児島県立短期大学の教育プログラムとその特徴	学科案内 CONTENTS
03	編入・留学	就職の状況 高い就職率を支える充実した就職活動支援体制
04	卒業生からの一言	
05・06	文学科	日本語日本文学専攻
07・08	文学科	英語英文学専攻
09・10	生活科学科	食物栄養専攻
11・12	生活科学科	生活科学専攻
13・14	商経学科	経済専攻
15・16	商経学科	経営情報専攻
17・18	第二部商経学科	
19	拡張されたカリキュラム	体験実習科目
20	様々な単位認定	キャリアデザイン 教職課程
21・22	キャンパスガイド	
23	キャンパスライフ	年間行事 活発な課外活動
24	サークル・同好会	
25	入学試験	学科(専攻) 募集人員 検定料 平成22年度入学者選抜の出願期間・試験日 平成22年度一般選抜における学力検査等の内容
26	入学科・授業料等	その他の経費 奨学金制度 授業料減免制度 福利厚生

編入・留学 就職の状況

ケンタンの高い就職率を支える充実した就職活動支援体制

編入・留学

卒業後に学問を深めたいという学生は、四年制大学への編入学試験に合格すれば、それぞれの大学の3年生又は2年生に進学する道が開かれています。

平成21年3月卒業生のうち、15名が大学へ編入学しました。

また、本学はアメリカのウィスコンシン州立大学やドイツのベルリン工科経済大学と編入学協定を締結しているほか、多数の大学の推薦編入学指定校となっています。

〔参考〕

- ・平成20年度推薦編入学指定校 22大学
- ・協定校ホームページアドレス
 ウィスコンシン大学リヴァーフォールズ校（州立）
<http://www.uwrf.edu/>
 ベルリン工科経済大学
<http://www.fhtw-berlin.de/>

高い就職率を支える充実した就職活動支援体制

- マナー指導 毎日午前8時30分から9時までお辞儀や挨拶の仕方を指導します。
- 履歴書添削 学生一人ひとりの特性が表れる履歴書づくりをサポートします。
- 面接指導 模擬面接を行い、面接態度や言葉遣いなどを指導します。
- 個別面談 定期的に学生と個別に面談を実施し、指導・助言を行います。

就職の状況

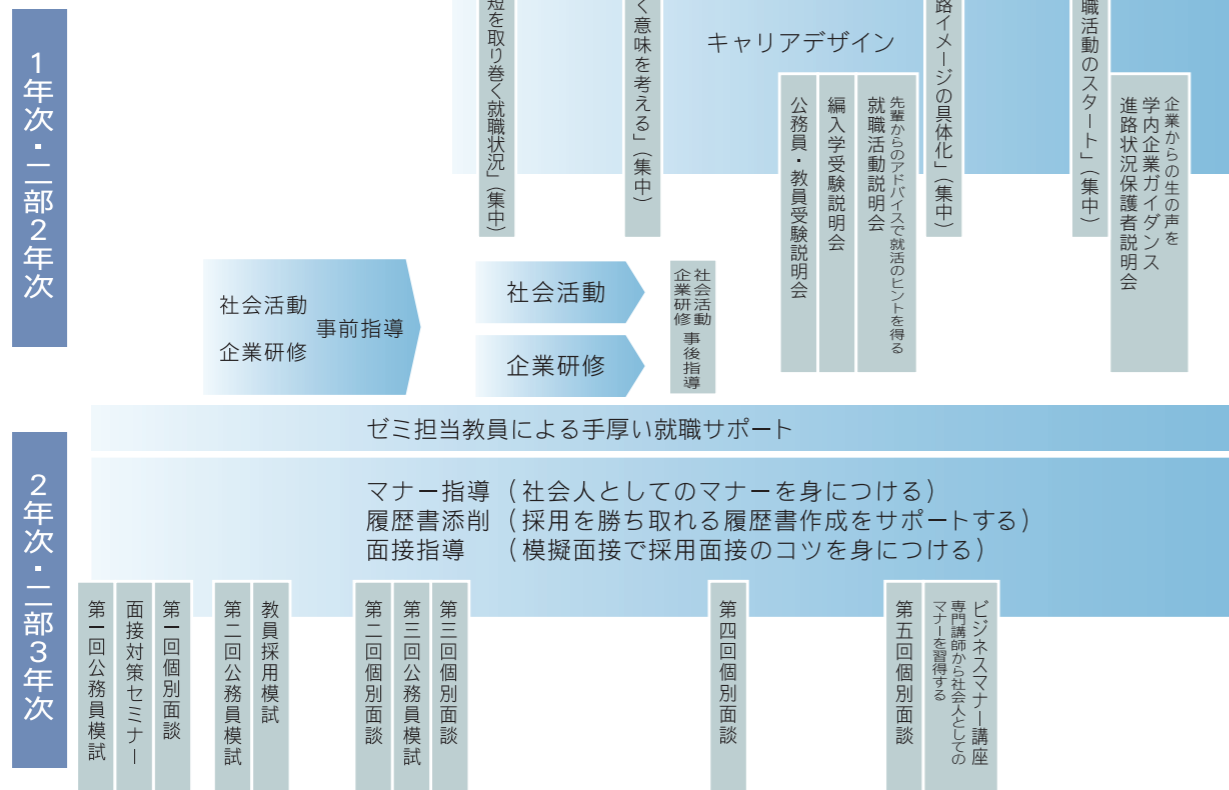
本学は、創立以来今日まで1万人以上の卒業生を社会に送り出しています。これら卒業生は、民間企業をはじめ国・県等公共団体の一員として、社会の幅広い分野で活躍しています。本学では、学生一人ひとりが持つ個性や能力、適性等を把握し、それぞれに合わせた就職指導を行うとともに、学生自身がいかに自分を見つめ、自分にあった職業を選択できるような環境づくりに努めています。

近年、新規学卒者の就職後の早期離職率が高いことや企業の即戦力を重視した中途採用の増加傾向、県内就職希望者の増加などから、新規学卒者の雇用状況は、予断を許す状況にはありません。しかしながら、本学においてはこれまでの卒業生の輝かしい活躍の実績等もあり、地域社会での本学の学生に対する高い評価のもと、就職を希望する学生のほとんどがほぼ希望どりの就職先に決定しています。



面接指導 風景

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月



卒業生からの一言



株式会社宮内洋行
石堂 智美 (日本語日本文学専攻卒)

私は現在、株式会社宮内洋行で働いています。分らないことばかりで日々挑戦といった感じですが、希望していた印刷関係の仕事に就くことができ、充実した楽しい毎日を送っています。

卒業生の私から皆さんへのアドバイスは、「自分から動き出す」ことです。まずは、今が自分の将来を決める大切な時であることを意識して、しっかり情報収集をし、積極的に説明会に行ってみてください。実際に体験して初めて見えてくるものがたくさんあると思います。「百聞は一見にしかず」です。事前の準備がきちんとできたら、あとは諦めずにどんどん当たっていくことだと思います。遊びも勉強も就職活動も含め、これからの県短生活を思いきり楽しんでください。



日清医療食品株式会社
瀬脇 麻衣 (食物栄養専攻卒)

私は、現在、栄養士として南九州市の菊野病院の厨房で働いています。毎日大変ですが、自分なりに頑張っって充実した日々を過ごしています。

県短での2年間を一言で表すなら『自由』でした。例えば、ただ授業をぼーっと90分聞くのか、集中して授業を受けるのか、それは本人の自由です。でもだからこそ『責任』を持たないといけないと思います。

就職活動も本人のやる気、採用試験を受ける姿勢を整えているか、この二点が重要ではないかと思ひます。また指導して下さる先生方、支えになってくれている人に対する感謝の気持ちも忘れてはいけません。自分の行動、判断に責任をもって、あっという間の2年間を悔いのないよう楽しく過ごしてください。



鹿児島信用金庫
依積田 綾香 (経済専攻卒)

私は現在、鹿児島信用金庫指宿支店に勤務しています。今は支店で、金庫業務について丁寧に教えていただき、毎日多くのことを学ぶ日々を送っています。社会人としての生活が始まり、大変なことも多くありますが、一日でも早く仕事を覚えようと頑張っています。

県短での2年間は、あっという間の学生生活でしたが、多くの友人達や先生方に会い、一緒に学生生活を送れたことは、私にとって一生の思い出となりました。

就職活動では、1年の2月頃から、企業説明会に参加したり、学生課のマナー指導を受けたりしました。私は、この就職活動で、大切なのは、自分はどうな仕事をしたいのか、しっかりと考えてみることだと思います。皆さんが、短い学生生活の中で、納得のいく就職活動ができ、充実し、楽しい学生生活を送れるように応援しています。

平成21年3月卒業生就職状況(第一部)

専攻	卒業生数	就職希望者数	決定内訳 (単位:人)										
			公務員・教員					企業等					合計
			国	県	市町村	教員	小計	農協	会社	金融	保険・証券	病院その他	
日文	37	24		2		2	2	10	1		6	19	21
英文	28	20				0	1	16	1		1	19	19
食栄	31	23				0		18	1		3	22	22
生活	34	25				0	1	16	3		4	24	24
経済	53	47		2	1	3	1	24	12	2	2	41	44
経情	51	40		1		1	2	19	12		5	38	39
計	234	179	0	5	1	0	6	7	103	30	2	21	163

平成21年3月末現在

卒業生からの一言



熊本大学文学部
熊本 桃子 (英語英文学専攻卒)

私は、現在、熊本大学で充実した生活を送っています。予習や課題、発表に追われる毎日ですが、どの講義や演習も興味深く、勉学を深める楽しさを感じています。

私は、短大入学時から編入を考えていました。1年の夏から編入の情報や試験を受ける大学の過去問を集めていました。編入は、ほぼ自分一人で情報を集め、受験勉強をしていく必要があります。しかし、決して孤独な闘いではありません。県短は就職や編入のサポートが充実しており、またどの先生方も親身にご指導して下さいます。

何事にも揺るがない信念と県短卒業後、どこで何をしたいのかという目標を持って努力をすれば、自分が思い描く道に進めると思ひます。皆さんも充実した2年間を送ってください。心より応援しています。



吉野石膏株式会社
堀江 夏紀 (生活科学専攻卒)

私は、現在、吉野石膏株式会社に勤務しています。先輩方も優しく、とても働きやすい会社です。私の業務内容は、営業事務として電話応対や商品の受注・配送の手配を行うことです。

3月には、東京で2週間におよぶ新入社員研修が行われました。全国から同期が集まるので、交友の輪が広がり、仕事の励みとなる友人を得ることができました。

私は、短大生活を通して、自分の行動に責任を持つことの大切さを学びました。時間厳守はもちろん体調管理も働いていく中で重要です。私は、年末に就職先が決まりました。焦らずにチャンスをつかんでください。

最後に一言、まめに学生課を訪問することをお勧めします。



商工組合中央金庫株式会社
本田 あさ (経営情報専攻卒)

私は現在、商工中金で働いています。先輩方のご指導をいただきながら、数週間後に迎える東京での新人研修に向けて日々頑張っています。

百年に一度といわれる大不況の中、不安と闘う私達を支えてくださったのは、たくさんの卒業生を社会に送り出してきた学生課の方々や先生方、そしてクラスの友人達でした。私達は2年生になる前から学生課に通い、就職指導を受け、友人達と情報交換しながら就職活動の準備をしてきました。少人数ならではの行き届いたご指導のおかげで、就職への不安を自信に変えることができたことでも感謝しています。

県短には短大・少人数という状況を十分活かせる環境があります。皆さんも県短で有意義な学生生活を送ってください。応援しています。



イオン株式会社
田尻 憲司 (第二部商経学科卒)

県短生の皆さん、こんにちは。社会人になって1ヶ月が過ぎました。東京で5日間、大阪で15日間の研修を終えて、現在、広島のお店で勤務しています。就活中は、不安な日々の連続でした。そして、とても悩みました。受験中の会社から連絡があるたびにどきどきしたり、心配で眠れない日もありました。自分の進路は、本当にこれでよいのか毎日考え続けました。その時期があったからこそ、現在とても充実した日々が過ごせているのだと思ひます。

私がアドバイスできることは、努力することを忘れないことと、あきらめなくて目の前にある課題を一つずつ乗り越えていくことです。皆さんの活躍を期待しています。